



# 東京学芸大学附属国際中等教育学校 第5回公開研究会のご案内



## 研究主題

### グローバル化社会に生きる資質・能力の育成 国際バカロレアの教育システムに基づく『目標・指導・評価一体型』の取組

本校の第5回公開研究会についてご案内申し上げます。

今回は、学習指導要領の改訂や高大接続システム改革により一層重要視されてきている生徒の「資質・能力」の育成に焦点を定めた研究会です。本校のIB教育のシステムに基づいた取り組みを、さらに本年4月から開設したDPプログラムと併せて公開授業を実施いたします。また、SSH、SGH指定校としての生徒による成果発表、及び情報交換会も行います。

世界に生きる学力と教養、コミュニケーション力、バランスのとれた成長、異文化理解という教育目標に沿って、日頃から培って参りました本校の実践研究についてご一緒に考えていただく機会となれば幸甚です。

東京学芸大学附属国際中等教育学校長 佐藤 正光

1. 期 日 **2016（平成28）年6月18日（土） 8:30～17:00**
2. 主 催 東京学芸大学附属国際中等教育学校
3. 後 援 練馬区教育委員会・東京都教育委員会（←6/8付 New）
4. 会 場 東京学芸大学附属国際中等教育学校
5. 内 容 全体提案，公開授業（DP クラス含む），教科別協議会  
SSH・SGH 生徒発表，IB・SSH・SGH 情報交換会
6. 日 程

8:30	9:00	10:00	10:20	11:10	11:30	12:20	12:55	13:50	14:00	15:30	16:40	17:00
受付	全体提案	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	昼食	生徒発表	移動	教科別協議会	移動	IB SSH SGH 情報交換会	

## 7. 詳細

### 【全体提案】 9:00～10:00

○本校の取組  
 ・本校の現状と課題  
 ・研究主題設定の意図  
 ・IB教育システムに基づく『目標・指導・評価一体型』の取組の実際

○資質・能力の育成を目指した教育課程とIB教育  
 国立教育政策研究所・教育課程研究センター  
 基礎研究部 総括研究官  
 後藤 顕一 先生

【公開授業Ⅰ】 10:20～11:10

教科・科目	学年	授業主題	授業者
国語	1年	言葉の力に気づくー「古典」を通してー	浅井 悦代
社会	2年	奈良時代の文化	前田 陽子
数学	3年	数学を使い、創る活動の水準を高める授業 ー統計ー	新井 健使
英語	3年 Core	Communicators	藤野 智子
Global Issues	5年	Communicators	小松 万姫
体育	3年	アルティメット	橋本 みゆき
音楽	2年	ICTを活用した音楽科の取り組み ー映像と音楽との関連を考えるー	水本 肇

○ディプロマプログラム (DP) 対象クラス<sup>※1</sup>

DP 美術	5年 DP	Finding myself through Art	Steven Platt 嶽 里永子
-------	-------	----------------------------	-----------------------

○学際的単元 (Interdisciplinary Unit) <sup>※2</sup>

理科	3年	持続の可能な社会をめざして 「水俣病」を理科の視点から考える	重森 健介
----	----	-----------------------------------	-------

※1 本校は2015年3月31日に国際バカロレア (IB) のディプロマプログラム (DP) の認定を受け、今年度より「日本語と英語によるディプロマプログラム (DP)」の授業を開始しました。

※2 IB の中等教育プログラム (MYP) の学校では、1年に1回ずつ学年毎に学際的単元を実施します。学際的単元では明確な目的のもとに2つ以上の教科を統合することにより、自身を取り巻く世界を生徒が深く理解することを促します。

【公開授業Ⅱ】 11:30～12:20

教科・科目	学級	授業主題	授業者
古典 B	5年	ナレーション作成を通じて物語を問い直す ー『伊勢物語』を語るー	宇佐見 尚子
数学Ⅲ	6年	数学を使い、創る活動の水準を高める授業 ー微分法ー	成田 慎之介
地学基礎	4年	東日本大震災から学ぶ地学	仲沢 隆
英語	3年 Advanced	Communicators	澤田 光穂子
体育	2年	バレーボール	田島 宏一
技術	2年	道具と機械からものづくりの多様性を考える	馬田 大輔
情報	1年	計算機科学にふれる	河野 真也

○ディプロマプログラム (DP) 対象クラス

DP 歴史	5年 DP	戦間期におけるヨーロッパ地域	山本 勝治 来栖 真梨枝
-------	-------	----------------	-----------------

○学際的単元 (Interdisciplinary Unit)

社会	3年	持続の可能な社会をめざして 「水俣病」を社会科の視点から考える	古家 正暢
----	----	------------------------------------	-------

## 【SGH・SSH生徒プレゼンテーション】12:55～13:50

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校事業の一環としての、本校生徒による課題研究の成果を発表します。

## 【教科別協議会】14:00～15:30

教科	協議会主題	助言者
国語	知識とイメージを自分で再構成する力と異文化への寛容性・耐性を育む古典の授業	中村 和弘（東京学芸大学）
社会※3	ワークショップ※4 －評価課題をつくってみよう－	
数学	数学を使い、創る活動の水準を高める手立て	中村 光一（東京学芸大学）
学際的単元 (社会・理科) 理科	教科横断的な学びを実現する授業設計	成田喜一郎(東京学芸大学教職大学院) 後藤顕一(国立教育政策研究所)
外国語	Communicators を育てる指導	高山 芳樹（東京学芸大学）
保健体育	生徒と教師でつくる体育授業のビジョン	Karen Richardson Deborah Sheehy 鈴木 直樹（東京学芸大学）
音楽	ICTを活用した音楽科の取り組み	中地 雅之（東京学芸大学）
美術	情報交換・交流会「美術教育とDP Visual arts」	
技術	MYP「探究テーマ」と評価・活用能力の関連性	阿久津勝利（江戸川区立清新第一中学校）

※3 DP 歴史の授業に関する協議も行います。

※4 社会科ワークショップはDP・MYPのどちらかのグループを選択して頂き、評価課題をつくります。会場等の都合により、ワークショップへの参加者は申込み先着40名とし、現職教職員の方を優先させていただきます。ワークショップの見学はどなたでもご参加頂けます。

## 【IB・SSH・SGH情報交換会】15:40～17:00

### IB 情報交換会

IB 情報交換会では、大きな課題の一つである日本に於ける DP 資格取得生徒の進路について検討致します。東京学芸大学教職大学院のダッタ・シャミ准教授、法政大学入学センターの柴岡義則様、オーストラリア留学センターの坂本岳志様とオーストラリア大使館の市川智子様にお越しいただき、それぞれのお立場で DP が育てる資質・能力と高等教育機関に於けるその受け入れについてご講演いただきます。

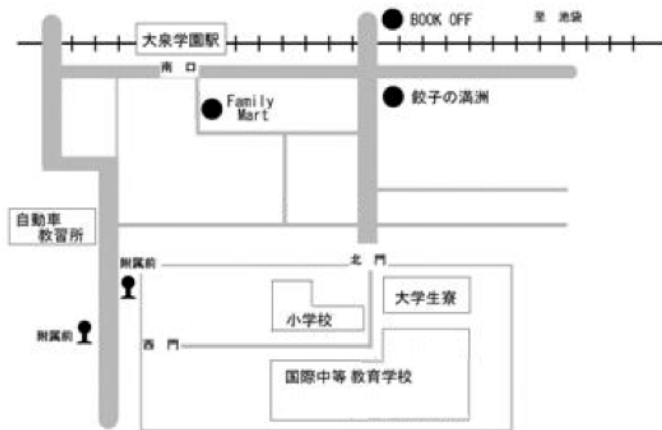
### SSH 情報交換会

本校の SSH 事業は 3 年目を迎えました。「国際バカロレアの趣旨に基づく理数探究教育プログラムの開発及び実践」を研究課題に掲げ、中高 6 年間での系統性を持たせたカリキュラム開発や課題研究への取り組み等を推進しております。今回の SSH 情報交換会においては、生徒の主体的な課題研究を促すしくみについて実践報告などを交えながら、多くの先生方や教育関係者の皆さんと情報交換や交流を深めたいと思います。

### SGH 情報交換会

本校の SGH 事業は 2 年目を迎えました。「多文化共生社会を支える組織力・対話力・実行力の育成」を研究開発構想主題として掲げ、課題研究を通しての生徒の資質・能力の育成とその評価方法の策定について研究を進めております。今回の情報交換会では、SGH の研究開発を通じた資質・能力の育成とその評価について、本校の現状をご報告するとともに、先生方やご参会の皆様と意見を交換する機会を持ち、交流を深めたいと考えております。

## 8. アクセス



### 電車

○西武池袋線「大泉学園駅」徒歩8分

### バス

- 西武バス・関東バス「学芸大付属前」下車
  - ・吉祥寺駅（武蔵関経由）より「新座栄」行  
「セコニック・都民農園」行  
「大泉学園駅南口」行
  - ・西荻窪駅（上石神井経由）より  
「大泉学園駅南口」行
  - ・上石神井駅より「大泉学園駅南口」行  
「長久保」行

※ 駐車スペースがございませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

## 9. 参加のお申し込みについて

参加のお申し込みは以下の方法でお願いいたします。

### 1 Web ページからの申し込み

下記 URL にて、必要事項を入力し送信してください。

<http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/kenkyu/>

### 2 郵送による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記住所の本校研究部宛にお送りください。

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究部 宛

### 3 FAX による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号まで送信してください。

FAX 03-5905-0317（別途 FAX 送信状などは不要です）

準備の関係上、6月10日（金）までにお申し込みください。当日受付も行いますが、お弁当を注文される方は必ずこの日までに事前申し込みを行って下さい。

※参加費は無料です。

※本公開研究会は、教育関係者を対象としております。

お問い合わせ先

東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

TEL 03-5905-1326

URL : <http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>

FAX 03-5905-0317

E-mail : [kenkyu@tguiss.jp](mailto:kenkyu@tguiss.jp)